

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり7.30人と、前週と比べて約1.8倍に増加し、注意報レベル(定点当たり10.0人)に近づいています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は3件の報告があり、今シーズンの累計は16件となりました。

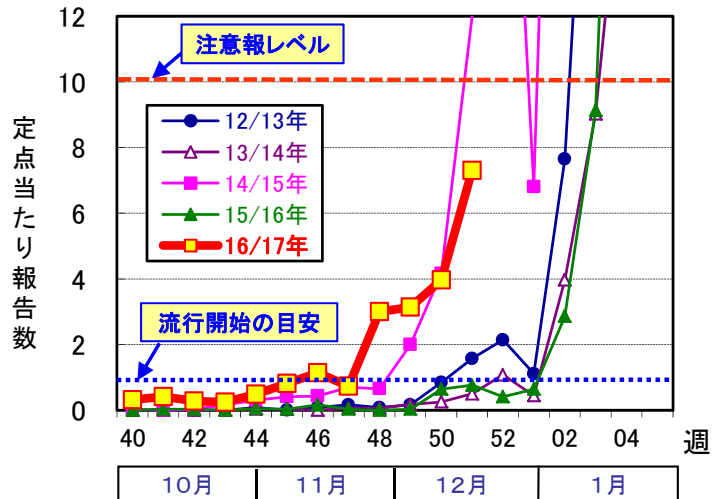
なお、第51週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断結果では、A型陽性が123人、B型陽性が7人報告されています。

健康管理に注意し、手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防に努めましょう。(次頁参照)

2. 感染性胃腸炎

定点当たり10.2人と、前週と比べてやや減少しましたが、全国的には報告数が増加しています。引き続き、手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	270	7.30	4.77	▲
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.51	□
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	2.38	2.36	□
小児科	感染性胃腸炎	245	10.21	14.27	□
小児科	水痘	18	0.75	1.57	▲
小児科	手足口病	28	1.17	0.34	▲
小児科	伝染性紅斑	5	0.21	0.30	□
小児科	突発性発しん	13	0.54	0.45	□
小児科	百日咳	-	-	0.07	□
小児科	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.03	□
小児科	流行性耳下腺炎	5	0.21	0.80	□
小児科	RSウイルス感染症	17	0.71	1.21	▲
小児科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	□
小児科	流行性角結膜炎	6	0.75	0.58	□
小児科	細菌性髄膜炎	-	-	-	□
小児科	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	□
小児科	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.49	□
小児科	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03	□
小児科	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	□

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	□	□	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	145	男性(30歳代)・1人、男性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人
4	つつが虫病	1	13	女性(80歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	16	男性(40歳代)・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	13	女性(60歳代)
5	梅毒	1	25	男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタウ イルス)	感染性 胃腸炎
報告数	広島市	第47週	27	6	53	469	12	26	8	10	1	3	5	6	3	1	-	-	6	-	-	-
		第48週	111	15	81	501	20	14	4	7	-	3	7	12	-	1	-	-	2	-	-	-
		第49週	116	11	62	389	11	18	2	1	1	2	9	13	1	3	-	-	5	-	-	-
		第50週	147	6	58	314	12	18	7	8	1	4	6	7	-	3	-	-	3	-	-	-
		第51週	270	6	57	245	18	28	5	13	-	3	5	17	-	6	-	-	-	-	-	-
定点 当たり	広島市	第47週	0.73	0.25	2.21	19.54	0.50	1.08	0.33	0.42	0.04	0.13	0.21	0.25	0.38	0.13	-	-	0.86	-	-	-
		第48週	3.00	0.63	3.38	20.88	0.83	0.58	0.17	0.29	-	0.13	0.29	0.50	-	0.13	-	-	0.29	-	-	-
		第49週	3.14	0.46	2.58	16.21	0.46	0.75	0.08	0.04	0.04	0.08	0.38	0.54	0.13	0.38	-	-	0.71	-	-	-
		第50週	3.97	0.25	2.42	13.08	0.50	0.75	0.29	0.33	0.04	0.17	0.25	0.29	-	0.38	-	-	0.43	-	-	-
		第51週	7.30	0.25	2.38	10.21	0.75	1.17	0.21	0.54	-	0.13	0.21	0.71	-	0.75	-	-	-	-	-	-
	全国	第49週	3.31	0.46	2.56	19.45	0.65	0.52	0.13	0.38	0.02	0.09	0.99	0.93	0.01	0.67	0.01	0.03	1.21	0.01	0.05	0.05
		第50週	5.02	0.51	2.72	20.89	0.65	0.43	0.13	0.40	0.01	0.09	0.97	0.79	0.01	0.71	-	0.05	1.01	0.02	0.06	0.06

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.9) 嘔吐 鼻炎	10	男	2016/11/14	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	発熱(38.0) 下痢	3	男	2016/10/17	糞便	エコーウイルス9型 ノロウイルスG2
感染性胃腸炎	嘔吐 腹痛	5	男	2016/11/17	糞便	サボウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(37.5) 気管支炎	5	男	2016/11/10	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の消化器疾患	腹痛	2	男	2016/10/31	糞便	アデノウイルス31型
その他の疾患	発熱 無呼吸 痙攣	0	男	2016/11/13	糞便 鼻汁(拭い液)	コクサッキーウイルスB3型 RSウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■インフルエンザを予防するための注意点

- ◆ こまめに、流水と石けんで手を洗いましょう。
- ◆ 咳エチケットを心がけましょう。
 - ・咳やくしゃみの症状がある場合は、マスクを着用しましょう。
 - ・咳やくしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他の人から顔をそらしましょう。
 - ・使用後のティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ 室内は加湿器などを使って、適切な湿度(50～60%)に保ちましょう。
- ◆ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。
- ◆ なるべく人ごみを避けましょう。
- ◆ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

【参考】厚生労働省インフルエンザ(総合ページ)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/

お知らせ

平成26年の感染症発生動向調査事業報告書をホームページに掲載しました。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1266991086805/index.html>

【問い合わせ先】健康福祉局 保健部 保健医療課 保健予防係 (電話 082-504-2622)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第51週(12月19日～12月25日)